

## 会 議 録

会議の名称		令和元年度 第1回守谷市立学校給食センター運営委員会		
開催日時		平成2年2月27日(木) 開会：10時30分 閉会：11時38分		
開催場所		学校給食センター 会議室		
事務局(担当課)		学校給食センター		
出席者	委員	高梨委員, 渡辺大士委員, 福田委員, 秋山委員, 鈴木不二男委員, 成井委員, 鈴木浩二委員, 石井委員, 串田委員, 渡邊委員, 宮川委員, 佐藤委員, 田口委員, 會田委員, 永瀬委員(委員長), 古谷委員  以上, 出席16名/20名		
	事務局	町田教育長, 宇田野教育部長, 坂所長, 中尾係長, 影山管理栄養士ほか栄養教諭3人(黒崎, 黒島, 齋藤) 以上8人		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開会 2 あいさつ(永瀬委員長, 町田教育長) 3 委員及び職員紹介(自己紹介) 4 議事 (1) 平成30年度事業報告 (2) 学校給食センターの改築(建替え)について (3) 給食費について (4) その他 5 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和2年3月30日		委員長 永瀬 宗重		

## 審 議 経 過

1 開 会 (坂所長)

2 あいさつ

永瀬委員長, 町田教育長

3 委員及び職員紹介 (委員及び事務局自己紹介)

4 協議

(会議録の発言者の記載について)

会議録へ発言者の氏名を記載することについて、「守谷市審議会等の会議の公開に関する指針」の規定に基づき会議に諮り、全員異議なく発言者の氏名を記載することで決定した。

(1) 平成30年度事業報告

事務局から資料に基づき報告がなされ、質疑応答が行われた。

【主な報告内容】

- ・給食を通して学べる工夫や正しい食習慣の指導について
- ・食物アレルギーの対応
- ・衛生管理について
- ・施設管理について

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今の説明に対して、質問がある方は挙手をして、名前をおっしゃってからお願いいたします。

<代替食について>

佐藤委員：2 献立性を活用の際はありますがこちらは学校ごとにどなたが判断されているのですか。どのくらい希望を取っているのですか。

坂所長：アレルギーのお子さん限定です。

中尾係長：アレルギーでその日のおかずを食べられない方で、もう片方の、別の学校へ出しているのであれば食べられる場合、そういう場合の対応です。

佐藤委員：月単位ですか。

中尾係長：一日単位です。

黒崎栄養教諭：1ヶ月の献立にはAとBの献立がありますので、それを利用したものとなります。

中尾係長：1ヶ月くらい前にアレルギーを持っているお子さんの保護者へ成分表をお渡しし、替わりものなら食べられるということであれば事前に出していただいて対応しているところです。

#### <外注先の衛生管理について>

**永瀬委員長**：給食センターのご飯とパンは外注していると聞いたのですが、本当ですか。

**坂所長**：学校給食会をとおして購入しておりますが、市内の長田さんから届けていただいております。

**永瀬委員長**：給食センターの衛生管理をやっているのはわかるのですが、外注先のチェックはどうしているの。

**坂所長**：直接の外注先の指導というのは、わたしが来てからは行っていません。

**永瀬委員長**：そこは大きな問題だと思うんだよ。特にこんな病気が流行っているときに、外注先の状況がわからないというのは。まして全部のごはんがそこからくるといのに衛生状況がわからないというのは大きな問題だよ。なんとかしましょう。どうしたらいいか考えましょう。

#### <残食量について>

**鈴木不二男委員**：毎日おいしい給食を提供していただいております。私も1月から低学年の教室を回って子供たちの様子を聞くと、味が薄味といたしますか、とても子供たちにとっていい。子供たちに聞くとおいしいという感想が多かったです。完食を進めようということで職員にも話をして、いい状況になっているところです。去年も同じ質問をしているのですが、残滓は増えているのか、減っているのか、ご質問します。配膳員さんや用務員さんの話を聞くと、給食をきちんと完食しているクラスは病気が少ない、風邪をひいている子も少ないということらしいです。見てみるとわかるんでしょうね。給食の栄養管理はきちんとされていてとてもいいと。そういう話もあったので、残滓が増えてきているのか、減ってきているのかお聞きします。

**坂所長**：残滓の量のデータは今手元に無いのですが、今年度、先生からのご指摘や、管理栄養士が新規で職員として採用していただけたということもありましたので、残食量の調査を定期的に行いました。結果につきましては、学校間で差が出ているという結果が出ています。こちらは資料としてまだ整理できていないところですが、整理をして校長会等でお出ししていきたいと考えております。残食が多い学校と少ない学校が顕著に出ております。小学校で残食が多い区域につきましては、そのまま中学校でも多いという結果が出ております。その対策をどうしていくかということにつきましてはこれからになりますが、地域間で差が出ているというのが現状でございます。

**町田教育長**：昨日、教育委員会があつて、その中でもその話題は出たんです。初めての調査で、これは継続して調査をしていかななくてはいけないと思うのですが、現段階で出ているのが北守谷地区で残滓が多いということですので。どういう理由なのかはわかりませんが、そういうことも分析しながら

給食の運営に反映させていくというのも大事なのかなと思います。当然、御所中も多くなるということです。それから永瀬委員長からありました給食の衛生環境も含めた安全ということですが、実は昨年度も校長先生にも給食センターを見ていただく機会をつくるようにしました。当然、供給元が外注ということであれば、そういうところに対しても状況がどういうふうになっているかをこちらでもきちんと把握しておくというのは大事だと思いますので、センターと協議をしながら、そのようなことも進めていければと思います。

#### <外注のメリットと新センターでの検討状況について>

**高梨委員**：主食を外注しているというお話がありましたが、新しい給食センターでご飯を炊いて、パンを焼くというのは考えなかったんですか。外注のメリットとか、経緯を詳しく教えてください。

**坂所長**：外注しているメリットということでございますが、地場産業の育成という面もあります。また、ご飯は学校給食会というところをとおして守谷の事業者から購入しておりますが、学校給食会は県全体に卸しておりますので、不測の事態がおきたときにも対応していただけるということがありますので、安定して供給ができるという大きなメリットがあります。それから新給食センターで炊飯をすることは考えなかったのかという質問ですが、考えてございます。現在、ご飯を供給する事業者というのが全国的に減ってきているということでございます。当市におきましても万が一撤退ということもあるかもしれないので、自分たちで炊けるだけのスペースを確保した設計となっております。

**永瀬委員長**：常総市とか、他もそうなの。

**坂所長**：つくばみらいは給食センターで炊いておりますが、他は……。つくばみらいくらいですかね。パンを自前でやっているところはありません。自校式のところなどでは、揚げパンなどの加工などは行っているところもあるそうです。

**宇田野部長**：基本的に主食は、週3．5日は米飯なんです。そうするとパンは月に2～3回なんです。そこに、センターで設備を投資して人員を確保してということになると高いものになってしまうということになります。

**永瀬委員長**：費用を考えてということで外注が良いということであればいいと思うんですが、安全管理を任せきりということではだめだよ。しっかりチェックをしなくちゃ。そこはしっかりやってほしいと思います。

**宇田野部長**：公益財団法人であります学校給食会の管理下にある外注業者なので、学校給食会でも衛生管理というのはされております。ただ、市としても、だからいいということではなくて、そういうかたで進めていきたいと思っています。

### <献立と食器の変更について>

**秋山委員：**まず、保護者の意見も踏まえて質問をさせていただきます。私も今年度に赴任をしてきたのですが、一昨日、ビーフシチューが出たんですが、それがきっかけで話題になったんです。牛肉って今まで出たことがなかったよねという話になり、今年になって給食がおいしくなったという意見がありました。デザートも工夫されたデザートが最近出されていますねという話をいただきました。それと、以前からおいしかったものとしては、守谷市のカレーは非常においしいという評判で、私も、今年度赴任しておいしいなというふうに思いました。それから、本年度、大きな異物混入等の事件が全くなかったですよ。他の市町村では、金属片が入っていたりとか、結構あったんですよ。しっかりやってらっしゃるという印象を受けました。話は戻りますが、麺のつゆのことですが、この前、みそ味の中華麺が出たんですが、子供達も非常に喜んでいたんですが、麺の量が多くて……。汁物にあった麺を提供していただけるとありがたいと思います。最後に質問ですが、食器の変更はいつごろでしょうか。

**坂所長：**まずは献立についてお褒めの言葉をいただきありがとうございます。献立につきましては栄養教諭の先生が月ごとに工夫をしながら行っている結果なのかなと思います。栄養教諭の先生は、去年は2人だったんですが、今年から3人になりましたので、そういうことから去年と比べるとメニューは変わっているところはあると思います。食器の変更につきましては、新給食センターにあわせて変更する計画です。食器を変更すると、洗い物の機械やコンテナなど、施設の全てに影響が出ますので、新給食センターにあわせて変更する予定となっております。麺と汁の関係ですが、先生方と工夫をしてやっていきたいと思います。

**石井委員：**今秋山先生からカレーの話が出ましたが、私もカレーがおいしいと思います。平成8年に守谷市に移動してきましたが、当時のカレーはとろみがなかったんですよ。ここ数年はおいしくて、子供たちにも大人気です。これは栄養価とかあると思いますが、スープカレーではなく、カレーライスをも月2回・3回程度出すことはできませんか。児童・生徒たちはもっと食べたいと言ってます。そういうことは可能ですか。

**黒崎栄養教諭：**10月とか、回数が多い月なら可能だと思いますが、4月とか3月など、回数が少ないときはちょっと難しいと思います。

**石井委員：**是非、回数を増やして、カレーライスを月2回出していただけるとありがたいです。

**永瀬委員長：**今日はカレーじゃないんですか。来年はカレーの日で是非お願いします。

では、先に進んでよろしいでしょうか。

それでは、協議事項1、平成30年度事業報告の質問を終結し、学校給食センターの改築について、説明をお願いします。

## (2) 学校給食センターの改築（建替え）について

別紙資料に基づき事務局から説明

**(要旨)** 昨年、給食センター運営委員会から整備計画の答申をいただき、現在に至っている。

現施設の調理能力は6,900食程度が限界であるが、最近行われた人口推計のとおり推移すると、令和7年には調理能力を超える可能性がある。一方、現施設は昭和59年にできた施設だが、衛生管理基準が平成9年に制定されたということもあり、衛生基準を満たしていない部分がある。これらの状況から改築（新築）ということをし、昨年度、運営委員会に協議をお願いして決定しております。発注は設計と施工を同時に発注するデザインビルド方式を採用している。昨年8月にプロポーザルの審査を行い、同年12月議会で工事請負の議案が可決され、令和4年4月の供用開始に向けて事業を進めている。

### 【質疑応答】

**永瀬委員長：**食数はどのくらいのキャパになるのですか。

**坂所長：**8,000食です。

**永瀬委員長：**この数で大丈夫なの。もっともっと伸びるはずだよ。また作るんじゃ大変だよ。

**坂所長：**余裕食として10%を上乗せして8,000食ということです。現在の人口の推移ですが、小学校につきましては、年で数十人伸びております。しかし、中学生は減っており、全体では微減という状況です。これは、小学生が中学に上がるときに、外に流出しているということだと思えます。小学校につきましては、黒内と守谷小学校、特に黒内につきましては爆発的に増えることが予想されておりますが、その他につきましては、横ばいか減っていくという傾向にあります。これらを踏まえ、8,000ということです。

**永瀬委員長：**今は設計段階なの。

**坂所長：**基本設計の段階です。

**永瀬委員長：**松並青葉だけだって5,000人増えるんだよ。守谷の考えは甘いよ。もっと、もっと伸びるよ。

**宇田野部長：**おっしゃることはありがたい話なんですけど…。人口推計というのは、この為だけに出したものではなくて、総合戦略とか総合計画とか、そういう市全体の計画の中で出している人口推計です。おっしゃるとおり以前は10万人規模というのを想定していた時期はあったんです。ただ、人口減少ということが全国的にもあり、人口推計の見直しを国レベルで行いました。それをベース、余裕をとって見た数が今回の数字でございます。逆に、そこを外して、もっと増やすというのは難しいということで、この数が妥当なのかなということでございます。

**坂所長：**委員長のご提案はセンターとしてはありがたいご意見なのですが、今の推計では、7,100弱がピークで、プラス10パーセントを余裕食

としてみて8,000食ということで計算させていただきました。

**渡邊委員**：令和4年4月に供用開始ということですが、現在の施設からの移行期間にお弁当というのは考えていないのですか。

**坂所長**：できるだけお弁当の期間は設けないようにしたいのですが、もしからしたら1週間程度は止めないと移行ができないかもしれないと内部では話していたところです。夏休み中なら移行期間が取れるのですが、春休みということになると短いので…。引っ越しだけではなく、試運転やトレーニングなどもありますので…。そこらへんがうまくいくかわかりませんが、できるだけお弁当の期間は無いようにしていきたいと思います。

**永瀬委員長**：他に質問がなければ次の協議に入りたいと思います。

### (3) 給食費について

事務局から説明

(要旨) 給食費については、法律で食材は保護者の負担とするということになっている。ただ、市の財源をかなり支出しているのが現状。平成29年度が約2,300万、30年度が3,300万、今年度については約5千万円ということで、一般財源の持ち出して増えだしてきているので、来年度の委員に協議をお願いしたい。近隣と比較しても、若干給食費は安いと思われる。また、食材も少しずつ上がってきているが、給食の質は落としていない。そうすると市の持ち出しは増えていくということになる。来年度、委員として選出されましたらご協議をお願いしたい。

**永瀬委員長**：事務局の説明に対して、何か要望とかはありますか。

例えばつくばより150円安いとして、150円上げたらどのくらい縮小できるのかな。5千万の赤字じゃしょうがないでしょう。

**坂所長**：5千万円の赤字は県内でも高いほうです。平成30年の近隣の状況ですが、取手市は200万円、つくばみらい市は800万、竜ヶ崎市が1,100万の持ち出しです。ただ、つくば市は1億5千万です。

**宇田野部長**：150円を6,500食、11カ月計算するとで1千万円強です。

**永瀬委員長**：じゃあ、まだ足りないね。

**宇田野部長**：全部をご負担していただくというのは…。一般財源から出している中には、例えば、守谷さんちの飲むヨーグルトなんかは、牛乳との差額を市が負担して、お子さんたちに地場のものを知っていただくということでやっていますから。ですから、全部を回収する必要は無いのです。

**永瀬委員長**：それでも、ちょっとは上げる必要はありそうだね。

**鈴木委員**：卵の値段は昔から変わらないという話もありますが、給食は1食250～260円で、10年くらい変わらなないですよ。

**宇田野部長**：消費税が5%から8%に上がった時点で運営委員会を開かせていただきまして協議していただきました。その時、やむを得ないだろうということで上げた経緯はあります。それが、平成26年です。その時、消費税の方向性として、8%から10%に段階的に上げていきますよという

ことであつたので、10%も見こして協議をしていただいたんですよ。方針としては、上がれば、上がったものはやむを得ないでしょうということでの協議でした。ただ、今回は食材は8%のままという軽減税率が適用になっているんですので、給食費は上げないで、現在に至っているということでございます。

**鈴木不二男委員**：自治体によっては給食費を全部払いますよというところがありますよね。それが可能なのかなと疑問に思ったのですが…。

**宇田野部長**：ご要望としてはあるところですが…。大体3億円くらいの収入です。無償提供しているところは、国とか県が出しているということではなくて、市が全部出しているんです。それを考えると、守谷市では3億円程度の財源を確保してお出しするということになる、それができてはじめて無料ということができるようになります。それを毎年続けていくのは非常に厳しいなということです。県内で無償化しているところは、お子さんの人数が少ないところ…。大子と城里でしたかね。守谷市では人口が伸びていますが、人口が減っている市町村は、人を呼び込みたいわけですから。来ていただければ給食費を無償にしますよという政策としてやっているところがあります。

**坂所長**：補足させていただきます。今年度につきましては給食提供日数が5日増えておりますので、その影響もあります。

**永瀬委員長**：それでは皆さんよろしいですか。

では、事務局から何かありますか。

**坂所長**：その他で、一点補足させていただきます。放射能の測定ですが、来年度で国の補助金が終了するというような動きがあるようですので、来年度の運営委員会で継続についての協議をしていきたいと考えておりますので、この場を借りてお知らせさせていただきます。

**永瀬委員長**：それでは、本日の協議は終了いたします。

※ 閉会后、給食の試食会を実施